



# 環境かわら版

2023年11月号(330号)

**愛知県環境調査センター 一般公開デー**  
2023年12月2日(土)  
10:00 ~ 15:30

**参加無料**  
事前申込不要

ゼロエミッション車を見てみよう!  
なごやの外來種を見てみよう  
触れるはく製もあるよ!  
(名古屋市環境局なごや生物多様性センター 出張展示)

普段は見ることができない環境分析室を大公開!  
工作もできるよ!

壁も天井もテコボコだらけ!?  
一体これは何の部屋?  
木製カトラリー  
ソーラーライト  
写真は一役です。  
ソーラーライト  
写真は一役です。  
ソーラーライト  
写真は一役です。

※駐車場はご利用いただけません。地球にやさしい公共交通機関でお越しください。

「愛知県環境調査センター 一般公開デー」を開催します(P2)



プロから学ぶ連続講座「環境活動ステップアップ研修」の参加者を募集します(P3)



「SDGs AICHI EXPO 2023」を開催しました(P5)



モリゾー キッコロ  
あいちSDGsアンバサダー  
©GISPRI

愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。県の環境に対する取組は、環境局 Web ページ「あいちの環境」で紹介しています。



「あいちの環境」(<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>)



# 「愛知県環境調査センター 一般公開デー」を開催します



子どもから大人の方まで、より多くの皆さんに環境について関心を持っていただくため、「愛知県環境調査センター 一般公開デー」を開催します。環境分析室の見学や VR ゴーグルでの気候変動影響の体験、外来種の標本の展示、ゼロエミッション車の展示、環境の大切さについて楽しく学べる講座や木の実を使った工作など、多彩な内容となっています。是非お越しください。

## 1 日時

12月2日(土) 10:00~15:30

## 2 場所

愛知県環境調査センター  
(名古屋市北区辻町字流 7-6)

## 3 主な内容

### (1) 施設見学

環境分析室や残響室・無響室(通常非公開)の見学



環境分析の様子

### (2) 体験

- ・音の響きの違いを感じる体験
- ・マイクロプラスチックを虫眼鏡で見る体験
- ・VR ゴーグルでの気候変動影響の体験(対象: 7歳以上)

### (3) 環境学習講座

「酸性雨ってなに?」(講師: 県職員)

- ・時間 ①10:30~11:00、②12:00~12:30、③14:00~14:30
- ・定員 各回先着 16名
- ・対象 小学4年生~6年生(保護者付添い可)

### (4) 工作

- ・もりの学舎 <sup>まなびや</sup>あそび工房 森のクラフト  
木の実や葉っぱを使ったクリスマスアイテムを作ろう!

※材料が無くなり次第終了



ミニクリスマスツリー



ツリーのかざり

- ・知ろう!学ぼう!「三河湾」  
三河湾の環境や生き物を学んでオリジナル缶バッジを作ろう!



缶バッジ

### (5) 展示

- ・外来種の標本の展示(名古屋市環境局なごや生物多様性センター出張展示)
- ・ゼロエミッション車(電気自動車と燃料電池自動車)の展示



外来種の標本



ゼロエミッション車

### (6) シールラリー

シールラリーでビンゴになった方に、素敵なエコグッズをプレゼントします(グッズの数には限りがあります)。

## 4 参加費等 無料、事前申込不要

## 5 その他

会場へは、公共交通機関をご利用ください(来場者用の駐車場はありません)。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2023kankyo-c-koukai.html>)



愛知県環境調査センター 一般公開

検索

環境調査センター 企画情報部  
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

# プロから学ぶ連続講座「環境活動ステップアップ研修」 の参加者を募集します



愛知県では、NPO 等による森と緑の保全活動や環境学習の裾野を広げ、活動のレベルアップを図るため、「あいち森と緑づくり税」を活用し、プロから学ぶ連続講座「環境活動ステップアップ研修」を2014年度から毎年度実施しています。

今年度も、テーマごとに3回に分けて実施します。

講義やフィールドワーク等を通じて、環境活動における課題の解決に役立つ知識や技術を学びます。

参加費は無料です。1回のみでの参加も可能です。

是非ご応募ください。

## 1 対象者

「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業」の実施団体に所属する方、森と緑の保全活動や環境学習を行っている方、これから行おうとしている方など、どなたでもご参加いただけます。

## 2 申込期限

第1回：11月14日（火）

第2回：12月1日（金）

第3回：12月8日（金）

※各回とも17:00まで

（必着、申込先着順）



講義の様子

## 3 申込方法

申込用紙に必要事項を記入し、FAX 又はメールのいずれかの方法でお申し込みください。

申込用紙のダウンロードや申込先等の詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/kankyostepup.html>)



ステップアップ研修 環境活動

検索

## 実施内容

テーマ・日時	内容	場所	定員
第1回 「地域、団体の連携・協働による森づくり」 11月21日（火） 14:00～16:00	地域住民や団体、企業が連携・協働しながら、身近な場所で行う「森づくり」の手法や維持管理について学びます（講義形式）。 演題：「みんなでつくる森づくり」 ～地域団体の連携・協働による森づくりの現場から～ 講師：篠田 陽作 氏（ネイチャークラブ東海）	愛知県環境調査センター 第2会議室	20名
第2回 「野外活動のリスクマネジメント」 12月8日（金） 10:00～16:00	組織で活かせる野外活動の事故予防について、経験豊かな講師から講義、ワークショップを交えて学びます。 講師：渡辺 直史 氏（プラムネット(株)）	もりの学舎 （愛・地球博記念公園内）	20名
第3回 「企画・広報」 12月17日（日） 10:00～16:00	環境や自然に関する事業の企画・広報について、経験豊かな講師から講義、ワークショップを交えて学びます。企画中のイベントなどもブラッシュアップできます。 講師：志賀 壮史 氏（特定非営利活動法人グリーンシティ福岡）	もりの学舎 （愛・地球博記念公園内）	20名

（環境活動推進課 調整・環境配慮グループ  
電話 052-954-6241（ダイヤルイン））

# プラスチックごみ削減について学ぶ啓発動画を配信 しています～VRで体験！プラごみゼロレポーター～



愛知県では、県民の皆さんにプラスチックごみ削減について考え、行動に移していただくことを目的とした啓発動画「VRで体験！プラごみゼロレポーター」を作成しました。

是非、動画をご覧ください、プラスチックごみ削減にご協力願います。

## 1 啓発動画の概要

VR動画によりレポーターを疑似体験できます。海岸、リサイクル工場等の現状やプラスチックごみを削減するための取組を視聴者自身が紹介していく内容となっています（所要12分程度）。

## 2 視聴方法

2023年10月18日から以下のYouTubeチャンネルで配信しています（通信費は自己負担となります。）。

(<https://www.youtube.com/channel/UCByMu6N8M04ma6-6s13RmIw/videos>)

### ※ 視聴に関する注意事項

通信環境の良い場所での視聴をお勧めします。  
(Wi-Fi環境推奨)

スマートフォンでVR映像をご視聴になるには、YouTubeアプリのインストールが必要です。  
VRゴーグルがなくても視聴は可能です。



VR動画視聴イメージ

プラスチックごみ VR

検索

資源循環推進課 一般廃棄物グループ  
電話 052-954-6234 (ダイヤルイン)

# ツキノワグマ出没対応訓練を実施しました



愛知県における今年のドングリの豊凶状況は、「凶作」となっており、今秋はツキノワグマ（以下「クマ」という。）の出没が増える可能性があります。

クマは日本を代表する大型動物であり、森林生態系の重要な構成種です。一方、クマによる人身被害など、人とのあつれきが問題になることもあります。

そこで、出没時に適切に対応するため、今年度から

「ツキノワグマ

出没対応訓練」

を始めました。

この訓練は、クマの市街地出没

時や誤って捕獲

した際の関係機

関の対応を模擬

的に演習し、その流れを確認することで、連携体制の

強化を目指しています。



野外での訓練の様子

今回は、8月と9月に豊田市と豊根村で開催し、関係市町村職員や警察官、地元の猟友会の方々にご参加いただきました。野外でクマの専門家がクマ役を演じて実際の出没状況を再現し、現場での対応を検討したほか、関係者の動きを図上でシミュレーションするグループワーク等を行いました。



グループワークの様子

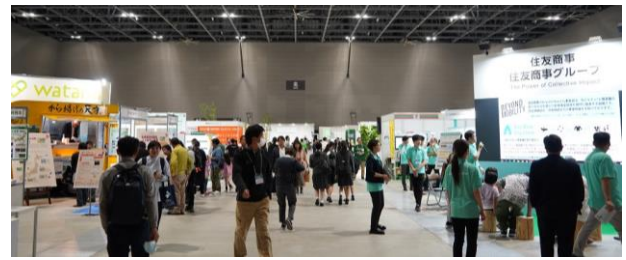
本県では、このほか、クマ出没予測等を毎年度行うなど、引き続き関係機関との情報共有・連携を強化するとともに、クマによる人身被害の防止に努めていきます。

自然環境課 野生生物・鳥獣グループ  
電話 052-954-6230 (ダイヤルイン)

# 「SDGs AICHI EXPO 2023」を開催しました



SDGs の達成に向けた機運を高めるため、「SDGs AICHI EXPO 2023」(主催:SDGs AICHI EXPO 実行委員会(会長 愛知県知事))を10月5日(木)~7日(土)にAichi Sky Expo(愛知県国際展示場)で開催しました。会場は大変多くの方で賑わい、3日間で合計14,058名の方にご来場いただきました。



出展ブースの様子

愛知県ブース「AICHI SDGs Action Campus」では、SDGs 関連の県事業の紹介や関係団体による活動内容の発表のほか、県内の大学生や県関係機関による工作教室などのワークショップを実施し、楽しみながらSDGsについて学んでいただきました。

## 【ステージイベント】

元衆議院議員の金子恵美氏<sup>かねこめぐみ</sup>による、地方創生に関する成功事例等をわかりやすく紹介した基調講演を皮切りに、企業向けのSDGs 戦略や脱炭素、生物多様性、産学連携など、幅広い分野にわたるSDGsの最新情報を主にビジネス層向けに発信しました。また、ファミリーや若者向けに、吉本芸人によるSDGs ステージやエシカル・ファッションショー、高校生がSDGsに関する活動成果を発表する「ユネスコスクール交流会」などの様々なプログラムを実施しました。



金子氏による基調講演



県事業の紹介  
(愛知県ブース)



ワークショップの様子  
(愛知県ブース)

エンディングセレモニーでは、来場者による投票で選ばれた優秀ブース出展者が表彰されました。



優秀ブース表彰

## 【その他】

会期中の10月5日・6日には、隣接するホールで、県内企業等の研究開発・実証実験等を紹介する産業展示会「あいちモノづくりエキスポ 2023」「Smart City Park from AXIA EXPO」が同時開催され、相互入場により多業種間の交流が深まりました。

「SDGs AICHI EXPO 2023」の詳細は公式サイトをご覧ください。

(<https://sdgs-aichi.com/>)



SDGs AICHI EXPO

検索



ユネスコスクール交流会

## 【ブース出展】

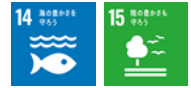
SDGs に率先して取り組む125の企業・団体がブース出展し、SDGs 達成に向けた取組の発信を行いました。出展者同士や来場者と出展者間にコミュニケーションが生まれ、本イベントの目標の一つである「パートナーシップの構築」に寄与しました。

### 出展企業・団体数

企業	NPO等	学校等	自治体	合計
35	33	26	31	125

環境政策課 企画・広報グループ  
電話 052-954-6210(ダイヤルイン)

# 令和6年度愛鳥週間用ポスター原画募集の 優秀作品を決定しました



令和6年度愛鳥週間用ポスター原画を募集したところ、県内の小・中・高等学校等から計14,972作品のご応募をいただきました。審査会での選考の結果、

特に優秀と認められた作品30点を、(公財)日本鳥類保護連盟主催の「令和6年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール」へ推薦しました。

## 愛知県選考作品一覧(全30点)

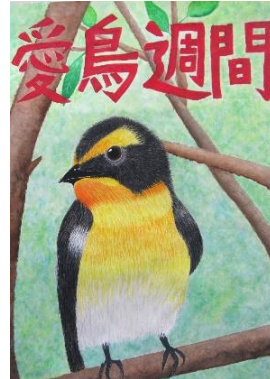
### <最優秀賞10点>



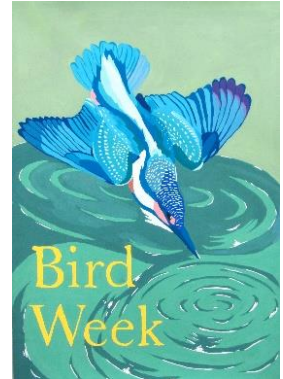
武豊町立  
衣浦小学校1年生  
城川 蒼翔さん



名古屋市立  
自由ヶ丘小学校2年生  
クアク日輪ダニエルさん



名古屋市立  
星ヶ丘小学校3年生  
松崎 真彩さん



江南市立  
古知野北小学校4年生  
黒川 日菜乃さん



名古屋市立  
大清水小学校5年生  
小島 一夏さん



一宮市立  
西成東小学校6年生  
間瀬 和輝さん



刈谷市立  
朝日中学校1年生  
中村 将大さん



みよし市立  
北中学校2年生  
大須賀 梨里さん



豊橋市立  
牟呂中学校3年生  
渡邊 美優さん



東邦高等学校2年生  
下村 真輝さん

※作品はWebページにも掲載しています。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/r6aicyo-aichisenko.html>)



<優秀賞 10点>



稲沢市立  
丸甲小学校 1年生  
柴田 暖さん



名古屋市立  
八幡小学校 2年生  
山崎 百々花さん



豊山町立  
豊山小学校 3年生  
岡島 遼介さん



半田市立  
乙川小学校 4年生  
瀬口 愛菜さん



瀬戸市立  
みずの  
水野小学校 5年生  
伊藤 花衣さん



刈谷市立  
朝日小学校 6年生  
上野 美結さん



東郷町立  
春木中学校 1年生  
園田 百菜さん



南山中学校女子部 2年生  
堀 馨子さん



一宮市立  
大和中学校 3年生  
宮田 くるみさん



名古屋市長  
南 特別支援学校 3年生  
青木 煌太さん

<特別賞 10点>



東郷町立  
春木小学校 1年生  
村井 沙矢香さん



北名古屋市立  
鴨田小学校 2年生  
肥後 丈士郎さん



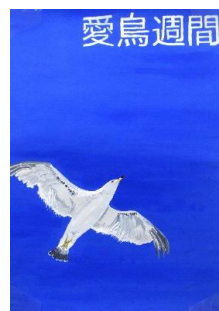
知立市立  
知立小学校 3年生  
寺田 望紗さん



みよし市立  
黒笹小学校 4年生  
川喜田 望矩さん



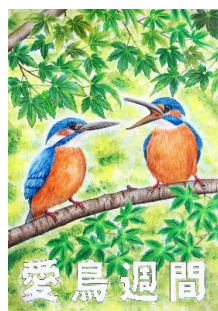
名古屋市長  
宝南小学校 5年生  
廣内 瑠璃さん



名古屋市立  
吹上小学校 6年生  
山本 凱士さん



刈谷市立  
依佐美中学校 1年生  
加藤 綾乃さん



岡崎市立  
常磐中学校 2年生  
大場 梨々花さん



西尾市立  
鶴城中学校 3年生  
浅井 櫻さん



中京大附属  
中京高等学校 1年生  
近藤 賀月さん

愛知県愛鳥選考作品

検索

〔自然環境課 生物多様性保全グループ  
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)〕

# 2023年度PM<sub>2.5</sub>注意喚起情報

## メール配信サービスの登録受付を開始します



PM<sub>2.5</sub>とは、大気中に浮遊している粒径が2.5μm以下の非常に小さな粒子のことで、肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器系や循環器系への影響が懸念されています。

このため、愛知県では、PM<sub>2.5</sub>の年平均濃度が70μg/m<sup>3</sup>を超えると予想される場合には、注意喚起情報を区域ごとに発令していますが、発令の際、この注意喚起情報を直接メールでお知らせするサービスの今年度の登録受付を11月1日から開始しました。

なお、2023年10月末までに登録いただいた方も再度登録が必要となりますので、ご注意ください。

### メール配信サービスの登録方法

- ①配信を希望する区域のメールアドレス宛に「空メール」を送信してください。
- ②しばらくすると、登録完了のメールが届きます。

### メール配信サービスの登録アドレス（区域別）

尾張区域
名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、津島市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
<b>owari_pm25@taiki-kankyo-aichi.jp</b>
西三河区域
岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町
<b>nishimikawa_pm25@taiki-kankyo-aichi.jp</b>
東三河区域
豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村
<b>higashimikawa_pm25@taiki-kankyo-aichi.jp</b>

詳細はWebページをご覧ください。  
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/0000058568.html>



水大気環境課 大気調査グループ  
 電話 052-954-6216 (ダイヤルイン)

# ブラザー工業(株)の低炭素水素製造事業計画を「中部圏低炭素水素認証制度」に基づき認定しました



愛知県では、「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議」において、水素の製造、輸送、利用に伴う二酸化炭素の排出が少ない水素を「低炭素水素」として認証・情報発信する「中部圏低炭素水素認証制度」により、中部圏の低炭素水素サプライチェーン構築に取り組む事業者を支援しています。

9月21日、ブラザー工業(株)の「ブラザー工業瑞穂工場水素吸蔵合金グリーン水素充填・配送プロジェクト」を認定しました。

本プロジェクトでは、ブラザー工業(株)瑞穂工場において、太陽光発電電力により水を電気分解して低炭素水素を製造し、「水素吸蔵合金」\*に貯蔵します。これを近隣のブラザーミュージアムに運搬し、燃料電池へ供給して発電することで、ブラザーミュージアムの施設電力の一部として利用しています。



事業計画の概要図

\* ガスボンベ等と比べ、比較的低压で高密度に水素を貯蔵できる合金。安全に水素を取り扱うことができる。



水素吸蔵合金の仕組み [出典 ブラザー工業(株) 資料]

詳細はWebページをご覧ください。  
<https://www.pref.aichi.jp/press-release/teitanso-8.html>



地球温暖化対策課 活動支援グループ  
 電話 052-954-6887 (ダイヤルイン)



9月号から3回にわたり、2022年度の参加グループが作成した教材を紹介しています。  
今回は、「至学館高等学校自然科学部」の皆さんが作成した教材を取り上げます。

至学館高等学校自然科学部の皆さんは、高校近隣を流れる矢田川について、①川の生物多様性、②川の水質、③川の物理環境と生物種の関係、④水温ごとの川の生物種の変化、の4点を明らかにすることを目的に調査を行いました。

調査の結果、次のことがわかりました。

- ①捕獲調査の結果、14種の在来種の水生生物と3種の特定外来生物が確認されたこと
- ②簡易水質検査の結果、CODが8mg/Lであったこと
- ③8月前半の平常時と8月後半の増水時では、調査地点で採捕できる生物種に差があったこと
- ④夏から秋にかけて採捕できる種数が減少したこと



調査・研究活動の様子

調査結果を基に作成した教材は、「矢田川メンコバトル」です。

これは、メンコをベースとしたボードゲームです。アタックカードを用いて、矢田川に生息する生物や道具のメンコカードを裏返して獲得し、ポイントを競います。ゲームを通して、矢田川の生物を学ぶことができます。

#### 教材の概要

主な対象	小学生以上
参加人数	4名程度
所要時間	約20分



教材「矢田川メンコバトル」



教材を活用する様子

あいちの未来クリエイト部では他にも様々な教材を作成し、全て貸出しを行っていますので、是非ご活用ください。教材や貸出方法の詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/program.html>)



未来クリエイト部

検索

環境活動推進課 環境学習グループ

電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

## ○ 夏の暑さに強い水稻新品種「愛知 135 号」が奨励品種に採用されました

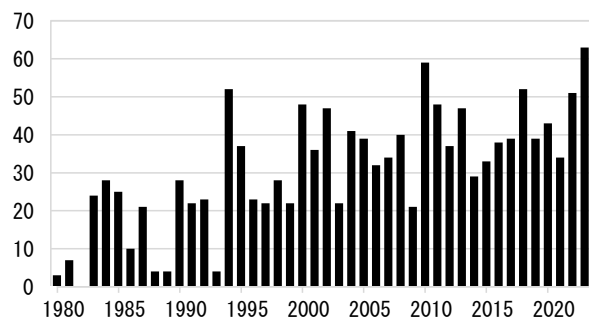
秋は稲穂が黄金色に輝く、新米のおいしい季節です。水稻は県内全域で栽培されていますが、豊田市、西尾市などで収穫量が多くなっています。

表 水稻収穫量の多い市町村（令和4年産）

	市町村	収穫量(t)
1	豊田市	11,300
2	西尾市	9,600
3	安城市	9,230
	県全体	130,800

水稻は、出穂<sup>しゅつすい</sup>後 20 日間の平均気温が 27 度を上回ると、玄米のデンプンの蓄積が不足し、玄米が白濁して見える白未熟粒<sup>しろみじゅくりゅう</sup>が発生しやすくなるとされています。

(日数)



※ 気象庁データを集計して作成

豊田市における平均気温 27 度を上回る日数

米の生産量の多い豊田市においても、平均気温が 27 度を上回る日数が増えています。今後、気候変動により、県内全域でも平均気温が 27 度を上回る日数も増加すると考えられます。

こうした気候変動に適応するため、県農業総合試験場は、耐暑性があり、白未熟粒が発生しにくく玄米の外観品質が優れる新品種「愛知 135 号」を愛知県経済農業協同組合連合会と共同で 2020 年に開発しました。その後の審査を経て、県は、2023 年 9 月に「愛知 135 号」を奨励品種として採用しました。

奨励品種になると、県はその原種（生産者の栽培用種子を生産するための種子）等の生産及び安定供給を行うこととなります。「愛知 135 号」については、関係団体と連携し、2025 年度から生産者へ向けた種子の供給を開始する予定で、「あいちのこころ」という銘柄名で流通することになっています。

消費者が買えるようになるのはしばらく先になりますが、お店に「あいちのこころ」が並ぶ日を楽しみにしてください。



「愛知 135 号」の草姿

\* 出穂  
茎の中から、穂が出ること  
「あいち 135 号」は 8 月中旬頃

「愛知 135 号」の詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/shoureihinshu-saiyou2023.html>)



環境調査センター 企画情報部  
愛知県気候変動適応センター  
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

※掲載のイベントや講習会等は、天候の影響等により、内容を変更又は中止する場合があります。

<p>愛知県環境情報紙「環境かわら版」 2023年11月6日発行(第330号) 編集・発行 愛知県環境調査センター 企画情報部 〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6 電話 052-910-5486(ダイヤルイン)</p>	<p>編集後記 天気が良かったので、長久手市の愛・地球博記念公園へ行ってきました。当日はイベントを開催していて、園内は多くの来園者でにぎわっていました。今度は「ラーケーションの日」を活用して、平日の比較的人が少ない園内で子どもたちと秋の草花や生き物を探してみたいと思います。(企画・編集チーム)</p>
--	---

今月号とバックナンバーを「環境かわら版」Web ページに掲載しています。  
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>)

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いします。

